



マスターコース15回生
山本千愛

愛知県出身。愛知県立明和高等学校音楽科を経て、桐朋学園大学音楽学部音楽学科ピアノ専攻を卒業。桐朋学園大学音楽学部卒業演奏会、及びピアノ専攻卒業演奏会、読売中部新人演奏会に出演。2010年ハンガリー国立リスト音楽院修士課程を卒業。MA ディプロマ及びプロフェッショナル演奏家資格を取得。留学中、フレンドシップコンサートに毎年出演。在ハンガリー日本大使館コンサートに出演。2001年ポーランド国立クラクフ室内管弦楽団と共演。2003年「三善晃ピアノコンクール」連弾部門金賞受賞。2004年「中部ショパン学生ピアノコンクール」高校生部門金賞受賞。「全日本学生音楽コンクール」高校生部門名古屋大会第2位。2006年「第1回ブルクハルト国際音楽コンクール」ピアノ部門第2位（第1位なし）2007年「ディヒラーコンクール(ウィーン)」にて第1位。2008年「ピティナピアノコンペティション」G級全国決勝大会において銅賞受賞。2009年中部日本交響楽団と共演。2011年エウテルペ国際音楽コンクールHカテゴリー（イタリア）第1位。現在、東海地方を中心に演奏活動を行いながら、後進の指導にあたっている。



マスターコース16回生
遠藤拓弥

岐阜県関市出身。名古屋市立菊里高校音楽科を経て、桐朋学園大学音楽学部卒業。桐朋学園大学院大学音楽研究科演奏研究専攻修了後、ハンガリー国立リスト音楽院に留学し研鑽を積む。2004～2013年の間7回に渡りぎふ・リスト音楽院マスターコースを受講。第1回東京ピアノコンクール第3位、2010岐阜国際音楽祭コンクール第2位ならびに文化人特別賞、第3回イスキア国際ピアノコンクール（イタリア）第3位、第16回ロッケッタ国際ピアノコンクール（イタリア）第2位など、国内外のコンクールで数多く入賞している。これまでにピアノを有賀三江子、定行和子、阿部美果子、野島稔、奈良場恒美、若林顕、ファルヴァイ・シャーンドル、グヤーシュ・イシュトヴァーンの各氏に師事。室内楽を藤原涼雄、岩崎洸、銅銀久弥、上田靖子、パール・エーデル、ジュラ・キシユの各氏に師事。現在は名古屋、岐阜を中心にソロや伴奏など演奏活動をするとともに、後進の指導にあたっている。



マスターコース17回生
高橋 早紀子

長野県長野市出身。愛知県立芸術大学卒業および同大学大学院修了。これまでにピアノを丸田清恵、夏目芳徳、伊藤美江、北住淳、ファルヴァイ・シャーンドル、ファルカシュ・ガーボルの各氏に師事。室内楽をビハリ・ラーズロー、チャログ・ガーボル、カーロイ・ボトヴァイの各氏に師事。あらゆるジャンルの声楽作品の伴奏を大下久深子氏に師事。大学在学中より、主に伴奏者・室内楽奏者として活躍の場を広げ、東海地区ではコンサートピアニストとして周知されていたが、2012年より演奏活動を休止し、ハンガリー国立リスト・フェレンツ音楽大学に留学。2013年8月、ハンガリーのペーチで行われたサマーアカデミーで、バッハのピアノ協奏曲第5番を演奏し絶賛され、2014年3月、ハンガリーのセゲドで行われた第6回ベラ・バルトーク国際ピアノコンペティションでは、特別賞を受賞した。同年6月に帰国し、再び名古屋を拠点に活躍しており、演奏のほか、コンサート企画者としても好評を得ている。平成27、28年度に鈴鹿大学短期大学部を経て、平成29年度より修文大学短期大学部助教として、保育者育成に携わる。



マスターコース17回生
服部志野

岐阜県恵那市出身。愛知県立明和高等学校音楽科、桐朋学園大学音楽学部ピアノ専攻卒業。2012年9月ハンガリー国立リスト音楽院に留学し、2015年6月同大学院修士課程を修了。2016年第32回JPTAピアノオーディションE部門全国大会 最優秀賞、萩原和子賞受賞。



マスターコース18回生
包原麻依子

愛知県出身。名古屋市立菊里高等学校音楽科を経て、東京藝術大学を卒業後、同大学院音楽研究科修士課程修了。学内にて声楽科フランス歌曲のティーチングアシスタントを務める。在学中、2014年ハンガリー国立リスト音楽院パートタイムコースに留学。2014年バルレッタ市若い音楽家のための国際音楽コンクール（イタリア）第1位。マウロ・パオロ・モノボリー国際ピアノコンクール（イタリア）第5位。2017年より東京藝術大学大学院音楽研究科博士後期課程に在籍。